

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「インベスコ プレミア・プラス・ファンド」は、このたび、第18期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



## インベスコ プレミア・プラス・ファンド 愛称：真分散革命

追加型投信／内外／資産複合



### 第18期末(2023年11月20日)

基準価額	10,102円
純資産総額	2,726百万円
第18期	
騰落率	△ 2.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 交付運用報告書

第18期

(決算日 2023年11月20日)

作成対象期間 (2023年5月23日～2023年11月20日)

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100  
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

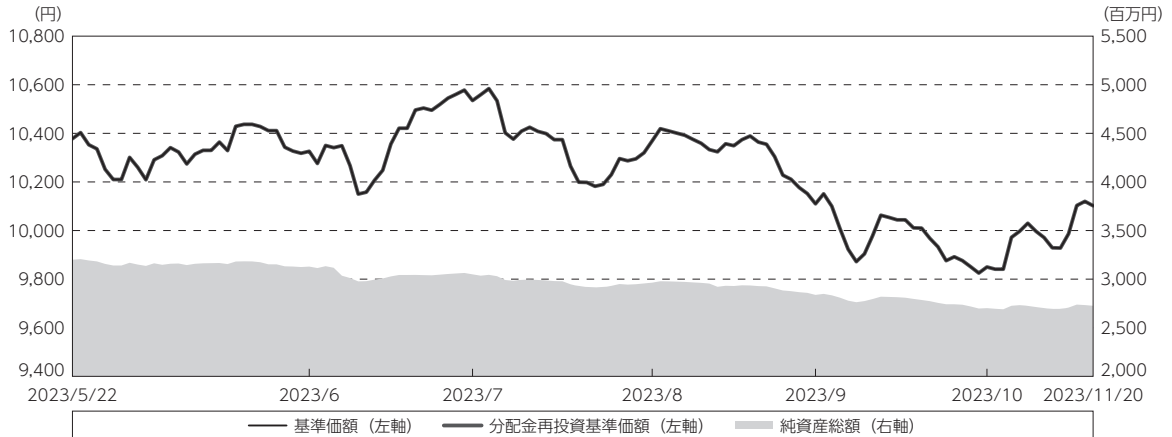
ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年5月23日～2023年11月20日)



期首：10,378円

期末：10,102円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 2.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年5月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

## [上昇要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象としているため、日本や米国の株式市場の上昇や、貴金属などのコモディティの価格上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、株式市場が上昇する環境下、期を通じて株式の資産配分を多め(オーバーウェイト)としたこと、各国の長期金利が上昇(債券価格は下落)する環境下、日本を除く債券の資産配分を少なめ(アンダーウェイト)としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

## 【下落要因】

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティを実質的な投資対象としているため、すべての投資対象市場の長期金利の上昇や、エネルギーや工業金属などのコモディティの価格下落などが、基準価額の下落要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、エネルギー価格が下落する環境下、期を通じてエネルギーをオーバーウェイトとしたことや貴金属が上昇する環境下、期を通じて貴金属をアンダーウェイトとしたことが、基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年5月23日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 48	% 0.470	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 4 )	(0.044)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(42)	(0.410)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.046	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.013)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 3 )	(0.033)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	53	0.516	
期中の平均基準価額は、10,248円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

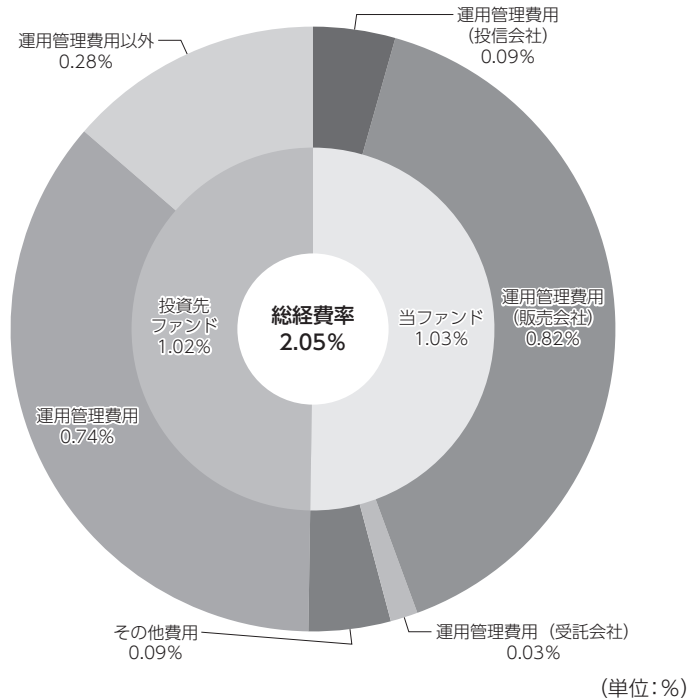
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



総経費率(①+②+③)	2.05
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月20日～2023年11月20日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2018年11月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月20日 決算日	2019年11月20日 決算日	2020年11月20日 決算日	2021年11月22日 決算日	2022年11月21日 決算日	2023年11月20日 決算日
基準価額 (円)	10,165	10,913	11,280	12,857	10,794	10,102
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.4	3.4	14.0	△ 16.0	△ 6.4
純資産総額 (百万円)	179	1,358	1,749	3,017	3,377	2,726

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは債券、株式、コモディティを実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

(2023年5月23日～2023年11月20日)

## 投資環境

## 《債券市場》

米国30年国債利回り	4.57% (前期末 3.97%)	英国10年国債利回り	4.13% (同 4.06%)
ドイツ10年国債利回り	2.61% (同 2.46%)	日本10年国債利回り	0.75% (同 0.39%)

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、長期金利が上昇しました。インフレ率の高まりなどにより期初から計5回の利上げを米連邦準備理事会（F R B）が実施したことや欧州中央銀行（E C B）が期初から計7回の利上げを行ったことなどから、各国の国債利回りは上昇しました。

## 《株式市場》

S&P500 指数（米国）	+8.5%	FTSE100 指数（英国）	△3.5%
DAX 指数（ドイツ）	△2.0%	CAC40 指数（フランス）	△3.1%
TOPIX（東証株価指数）（日本）	+9.0%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は日本と米国を中心に上昇しました。2023年の前半に米国での地方銀行の破綻や債務上限を巡る懸念により一時的に不安定に株価が推移する局面があったものの、企業業績が堅固なことや景況感指数が強いことなどから、株価は上昇しました。

## 《資源資産市場》

エネルギー（WT I 原油）	+15.9%	工業金属（銅）	+4.7%
貴金属（金）	△0.1%	農産物（R I C I）	+6.0%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なE T Cの価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、貴金属が上昇し、エネルギー、工業金属、農産物が下落しました。エネルギーは、期の前半にかけて原油の在庫増やロシアが減産に否定的な見方を示したことなどから、原油価格は下落しました。工業金属は、中国での不動産市況の悪化や景気減速懸念の高まりを受けて、銅価格は下落しました。農産物は、欧州やインド、米国などで豊作による穀物の供給増から、主要な農産物が下落しました。貴金属は、パレスチナ問題を巡る地政学リスクの高まりを受けて、金価格は上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年5月23日～2023年11月20日)

インベスコ バランススト・リスク・アロケーション マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンを獲得をめざしました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランススト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行いました。債券、株式への投資は当該資産への直接投資や上場投資信託証券（以下、「ETF」といいます。）への投資の他、デリバティブ取引を活用しました。また、資源資産への投資はETF、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用しました。

市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して各資産クラスにてロング・ポジションを形成するとともに、短期的な市場変化に機動的に対応するため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

- ・株式は、新興国と米国をアンダーウェイトとし、他の投資対象国はオーバーウェイトを維持しました。
- ・債券は、英国、ドイツ、米国はアンダーウェイトを維持しました。豪州とカナダは期の前半はアンダーウェイトとしましたが、豪州は2023年4月から6月、カナダは5月にかけて一時オーバーウェイトとし、その後再びアンダーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギーは、6月と7月を除きオーバーウェイトとしました。貴金属は、アンダーウェイトを継続しました。工業金属は期の前半はアンダーウェイトとしましたが、8月から10月にかけてはオーバーウェイトとしました。農産物は、期初はオーバーウェイトとしていましたが、2023年3月以降はアンダーウェイトとしました。

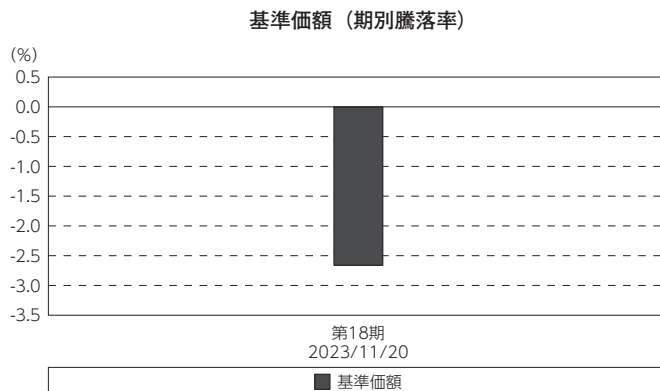
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年5月23日～2023年11月20日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(2023年5月23日～2023年11月20日)

**分配金**

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2023年5月23日 ～2023年11月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,790

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンを獲得をめざします。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、ETF、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。



## お知らせ

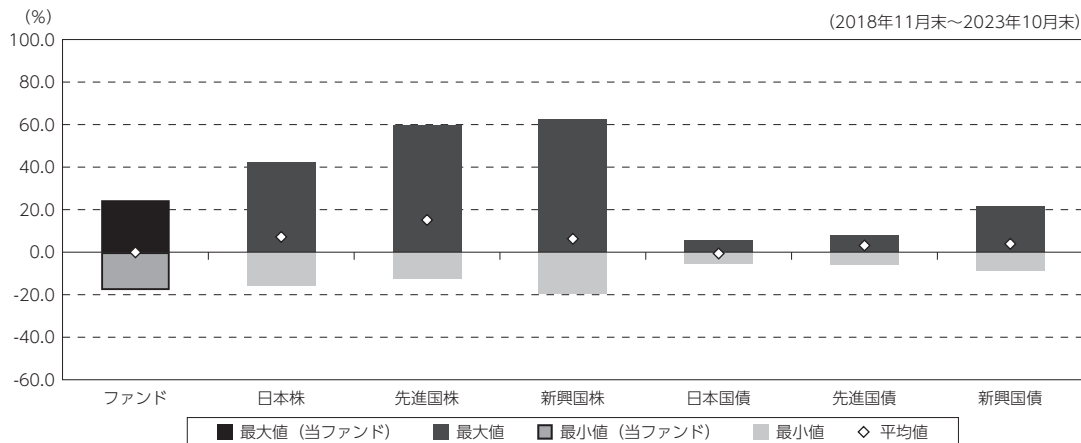
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	・投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ プレミア・ プラス・ファンド	「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ バランスト・リスク・ アロケーション マザーファンド	別に定める投資信託証券*への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資します。</li> <li>・債券、株式、資源資産3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。</li> <li>・実質外貨建資産については、実質的に為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</li> </ul>	
分配方針	原則として年2回の毎決算時（5・11月の各20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-0.1	7.2	15.2	6.3	-0.6	3.1	3.9
最大値	24.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	-17.8	-16.0	-12.4	-19.4	-5.5	-6.1	-8.8

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P14の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

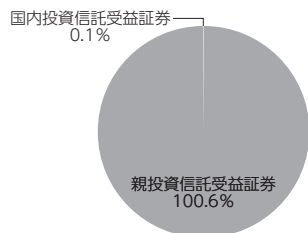
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	100.6%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

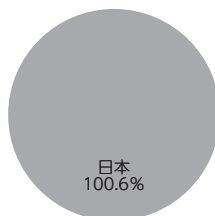
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

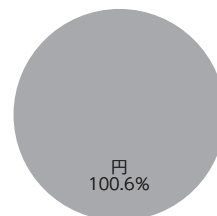
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

## 純資産等

項目	第18期末
	2023年11月20日
純資産総額	2,726,069,309円
受益権総口数	2,698,601,469口
1万円当たり基準価額	10,102円

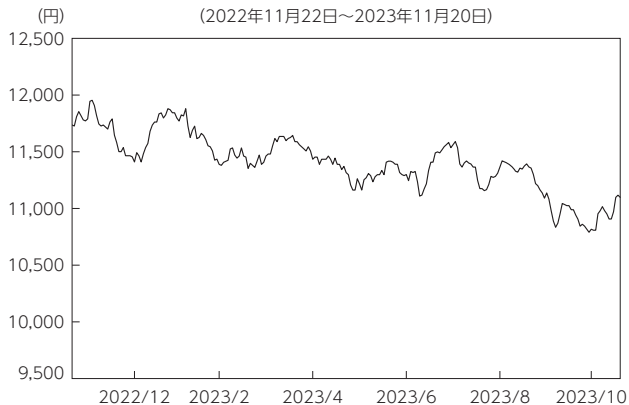
\* 期中における追加設定元本額は76,264,678円、同解約元本額は461,005,829円です。

## 組入上位ファンドの概要

## インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2022年11月22日～2023年11月20日)



## 【組入上位ファンド】

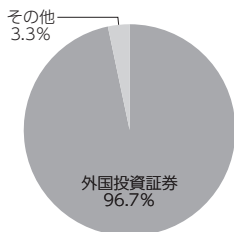
(2023年11月20日現在)

銘柄名	第9期末
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	96.7%
組入銘柄数	1銘柄

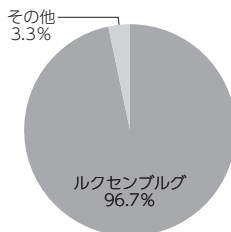
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

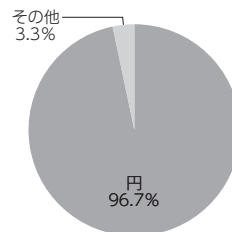
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、11,387円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人  
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド

「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位10銘柄】

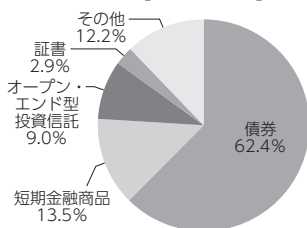
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Societe Generale SA (Call account) 0% EUR	短期金融商品	13.5
2	Invesco Liquidity Funds plc - Invesco Euro Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	9.0
3	Bundesobligation 0% EUR 13/10/2023	債券	7.3
4	German Treasury Bill 0% EUR 18/10/2023	債券	7.1
5	German Treasury Bill 0% EUR 23/08/2023	債券	6.6
6	German Treasury Bill 0% EUR 19/07/2023	債券	5.3
7	Dutch Treasury Certificate 0% EUR 30/03/2023	債券	4.7
8	Bundesschatzanweisungen 0% EUR 16/06/2023	債券	4.3
9	Canadian Imperial Bank of Commerce FRN 0% USD 26/12/2023	債券	4.1
10	German Treasury Bill 0% EUR 22/03/2023	債券	3.4
	組入銘柄数	19銘柄	

(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分】



(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

【国別配分】

必要な情報が開示されていません。

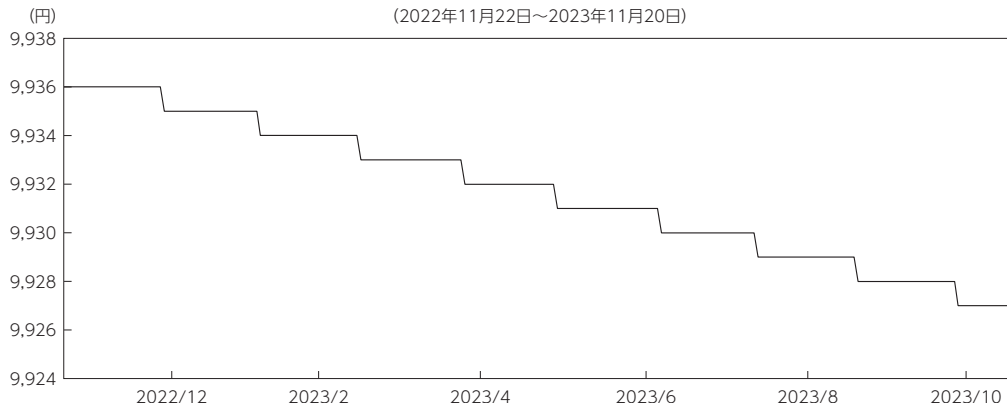
【通貨別配分】

必要な情報が開示されていません。

## インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

## 【基準価額の推移】

(2022年11月22日～2023年11月20日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、9,931円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 組入資産の内容

(2023年11月20日現在)

2023年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべて MSCI Inc. に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社が MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

### ○JP モルガン GBI – EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JP モルガン GBI – EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社が JP モルガン GBI – EM グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JPMorgan Chase & Co. 及び関係会社（「JP モルガン」）に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。